

科目名	保育実習Ⅱ（保育所）		
担当講師	剣持佐智子	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	実習 90 時間・2 単位	開講学年	2年 前期
評価基準	実習からの評価（50%） 実習日誌（30%） 実習課題(10%) 実習に臨む態度(10%)		
目標	1. 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 2. 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び、保護者支援について総合的に学ぶ。 3. 子どもの観察や関わりの視点を明確にして実習に取り組み、保育の理解を深める。 4. 指導計画について立案から自己評価までの実践を通して理解を深める。 5. 実習での学びから自己課題を明確にする中で、保育士を目指す者としての自覚をもち、保育士に求められる資質の向上を目指す。		
回	実習内容	方法	
1	I 保育所の役割や機能の具体的展開 （1）実習園によるオリエンテーション（実習園の理解） （2）実習園の生活と一日の流れを理解し積極的に参加する。 （3）養護と教育が一体となつて行われる保育について理解する。 II 観察に基づく保育理解 （1）保育全般に意欲的に参加し、保育技術を習得する。 （2）保育者の子どもにかかわる姿から、育ちに必要な保育者の援助の仕方を学ぶ。 III 子供の保育及び保護者・家庭への支援と地域社会との連携 （1）保護者や地域社会・関係機関との連携について具体的に学ぶ。 （2）子どもへの個別のかかわりの必要性和対応について学ぶ。 IV 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価 （1）生活や遊びの一部を担当し、保育実践力を習得する。 （2）指導計画を立案し、部分実習・責任実習を実践する V 保育士の業務と職業倫理 （1）保育士としての業務や職業倫理を具体的に学ぶ。 （2）安全・疾病予防への配慮について理解する。 （3）子どもの最善の利益への配慮を学ぶ。 VI 自己課題の明確化 （1）保育所の保育士に求められる資質、技術等に照らし合わせて自己評価し、自己課題を明確にする。	実習	
テキスト・参考書	「生活事例からはじめる教育実習 保育実習」（青踏社） 「幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド」（わかば社） 「保育所保育指針」（厚生労働省）実習の手引き		